

長崎の林業

小曾根星堂書



4

手作りの木のおもちゃ NaDeg (ナデグ) の立体パズル (長崎市田中町)

目次

●林政だより	令和3年度林政課・森林整備室の予算概要 ……………	2~3
●特集記事	長崎県産材を活かした日本文化と伝統を守る匠の技 佐世保市「今村ロクロ工芸」 今村 猛さん ……………	4~5
●林業普及だより	ボトルネックの解消で森林作業システムの効率化を 目指す! ……………	6
●地方だより・島原	里山林整備活動(雲仙市) ……………	7
●地方だより・県北	県産材で簡易ハウス「スマートモデュール」を 製作しました ……………	8
●林業団体情報	令和3年 春季の緑の募金活動期間が始まりました!! ……	9
●センターだより	早生樹の幼齢期における風害状況 ……………	10
●紹介コーナー	手作りの木のおもちゃ NaDeg (ナデグ) ……………	11
●長崎の山：岩屋山475.2m (長崎市)	……………	12

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。



No.787

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう!

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→

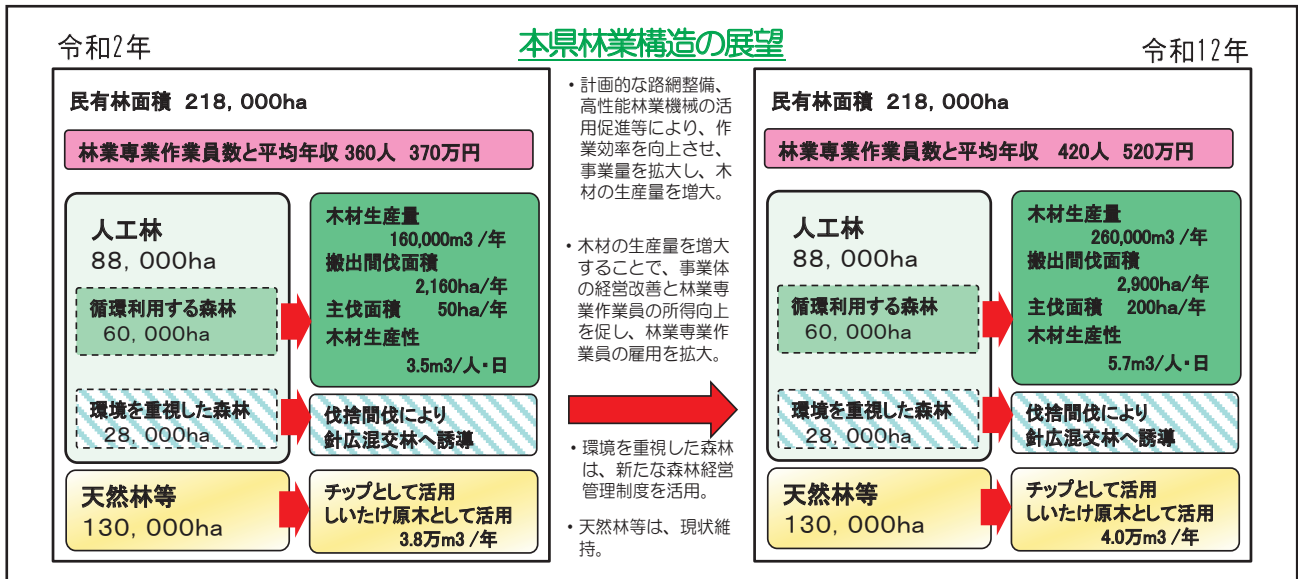


FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

令和3年度林政課・森林整備室の予算概要



ながさき農林業・農山村活性化計画

令和2年12月に県農林部は、若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村を目指して、ながさき農林業・農山村活性化計画を策定しました。

計画では、令和12年度に目指すべき林業構造の展望を描いております。この実現を目指し、各事業を推進します。

具体的には、計画的かつ効率的な森林整備の実施により生産性を高め、木材生産量を増大し、木材の売上額を上昇させることで、林業事業者の経営改善と林業專業作業員の平均年収520万円を実現させ、若者から選ばれる林業として林業專業作業員420名を確保します。

また、近年多発する自然災害に対して、県民の安全・安心で快適な地域づくりを推進するため、治山事業を実施します。

◎林務関係当初予算の概要

計画の開始年度となる令和3年度の林務関係の一般会計当初予算は、83億14百万円となります。

主要事業

1. ながさき森林環境保全事業

(予算額：209,888千円)

森林の持つ公益的機能の維持発揮のため、「環境重視」「県民参加」の視点で、緊急的な森林の整備や森林ボランティア等による森林保全活動を支援します。



森林のつどいでの植樹活動

2. 地域と森林見守り推進事業

(予算額：2,072千円)

主伐・再生林の推進体制の構築、しいたけなどの生産取組を支援します。

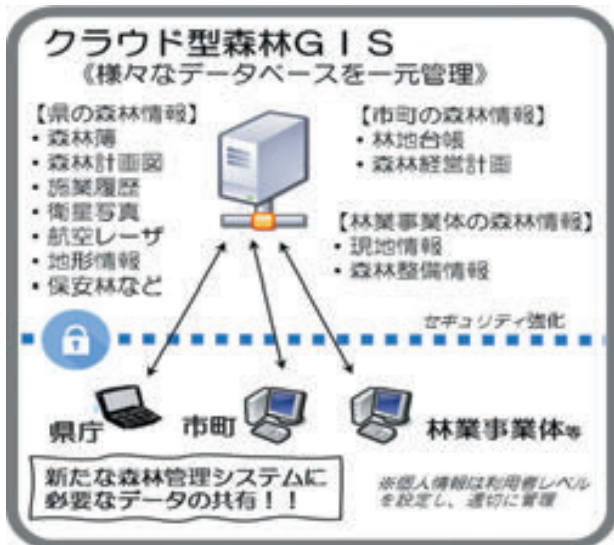


原木しいたけ

3. 森林環境譲与税事業

(予算額：96,500千円)

「新たな森林管理システム」を推進するため、市町のサポートや林業事業体の支援に加え、令和3年度拡充事業として、クラウド型森林GISを構築し、効率的な森林情報の共有化を図ります。



4. 森林環境保全整備事業（造林公共）

（予算額：1,206,107千円）

森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、健全な森林を育てる必要があります。そのための造林や間伐等の森林整備を支援します。



森林整備状況

5. 森林環境保全整備事業（林道公共）

（予算額：232,300千円）

森林資源の一体的・効率的な整備を促進するために必要な森林管理道の整備を行います。



木材の搬出状況

6. 治山事業

（予算額：2,652,425千円）

梅雨前線や台風による集中豪雨等を起因とした山地災害から県民の生活を守るため、施設整備及び森林整備を実施します。

また、山地災害危険地区等の情報を住民に周知するなど、ソフト対策を含めた治山事業を推進します。



田平地区 緊急予防治山事業

◎林務関係補正予算の概要

林務関係2月補正（経済対策）予算は、18億46百万円となります。

主要事業

1. 合板・製材生産性強化対策事業

（予算額：24,406千円）

木材製品の国際競争力を高め、原木供給の低コスト化等を通じた体質強化を図るため、間伐材の生産等を実施します。

2. 造林費

（予算額：647,444千円）

森林の有する公益的機能が十分発揮されるよう、適正な森林整備等を実施します。

3. 治山事業

（予算額：1,173,900千円）

災害を未然に防止し、安心して生活ができる環境となるよう治山事業を実施します。

（林政課 計画調整班）



【特集記事】

長崎県産材を活かした 日本文化と伝統を守る匠の技

佐世保市「今村ロクロ工芸」 今村 猛さん

今村ロクロ工芸を営む8代目人形師 佐世保独楽職人 いまむら たけし 今村 猛さん

佐世保市役所の目前に、同市の鎮守神として古くから親しまれている「亀山八幡宮」があります。地元の人から「八幡神社」や「八幡様」の愛称で呼ばれ、初詣や七五三詣など毎年多くの参拝客が訪れています。この神社からほど近い場所に、日本の伝統工芸の技を受け継ぎ、長崎県の木材を活かした工芸品を作り守り続けている小さな挽物細工ひきものの木工所「今村ロクロ工芸」があります。今回はこの木工所の職人である今村猛さんに話を伺いました。

先祖代々続く人形師として

挽物細工とは、木材を轆轤ろくろに固定し、高速で回転させながらノミなどの刃物で削って作るもので、主にお椀やお盆、独楽やこけしのような人形を指します。こうした挽物細工を生産する職人は、日本に古くから伝わる伝統工芸品の技を守ってきました。今村さんは先祖代々続く挽物細工の「8代目人形師」です。一族の歴史は大変古く、判明しているだけでも400年程前より続く家系図いんぎょうやこうえもんが残されています。元々は、京都で「人形屋小右衛門」という名の人形師として活躍していたそう。関ヶ原ありまの戦いの後、明智光秀の家臣であった有馬

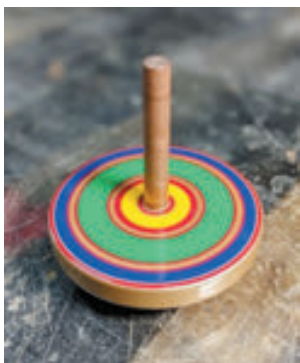
とようじ豊氏が京都から久留米に国替えする際に、仕えていたたじまのかみ但馬守のお抱え人形師として一緒に移ってきたそうです。

「佐世保独楽」製作の始まり

久留米に移った一族は木工所を開き、カラクリ人形などを製作していました。人形師として古くからお殿様に仕えていた「人形屋小右衛門」一族のお墓は今でもその土地に残されています。時代は明治に入り、佐世保に鎮守府こうしょうが開庁、海軍工廠が設置される年、そこに卸す木工品の製作依頼が来ます。今村さんの祖父は現在の地に木工所設立を決めました。当時は、海軍の子ども達が遊ぶ独楽の注文が大量に入ってきたそうです。独楽作りで使用するのがブナ科のマテバシイ。今村さんの独楽作りに使用される木材は全て松浦市志佐町より運ばれます。伐倒業者さんとは15～16年程の付き合いだそうで、良いマテバシイが出たらすぐに声をかけてもらうそう。職人歴50年の今村さんいわく、県北地区にマテバシイが多いのは飢饉の際、平戸藩が食用として植樹していたからだそうで、木工所では年間2トン車2台分程を使用しています。



(左) 伐採後、2年間乾燥させたマテバシイ
(右) 轆轤に固定した材をノミで削る作業



(左) ひとつひとつ手作業で行われる色つけ
(右) 色合いが美しい「ひねり独楽」

上の4枚目の写真は、20年程前に長崎総合科学大学の先生と合同開発した「ひねり独楽」です。何日もかけバランスを整えた結果、両手で一度ひねって回す独楽としては回転時間が驚異の20分超えという記録を打ち出しました。また、倒れない独楽として開発された「不倒独楽」はその縁起の良い名にちなんで、受験や就職のお守り、長寿祝い等として口コミで広がり、毎年注文が入る人気作となりました。

長崎から全国に届ける木の温もり

何度か訪問させて頂く中で印象的だったのが今村さんの忙しさです。日本全国から様々な木工製品の依頼や相談が続々とあり、次から次へと新しい製品が生まれます。更に驚くのは、それが今村さんお一人の手で、作られていることです。その一部をご紹介します。

今村ロクロ工芸が手掛けた木製品

東京ディズニーランド

ミッキーマウスの小道具

ユニバーサルスタジオジャパン

オープニングイベント用フラッグ 100本

歌舞伎座 演目用小道具

スーパー歌舞伎ワンピースの小道具

松任谷由実 舞台用小道具

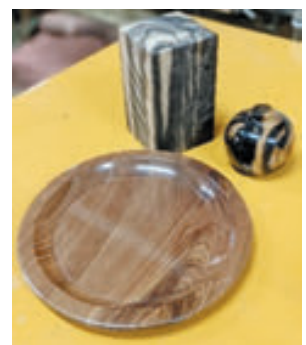
EXILE 舞台用十字架マイクスタンド

倭田来未 舞台用ステッキ など

長い付き合いのある東京の特殊舞台美術制作会社などから上記のような様々な依頼が来ます。人気テーマパークや有名アーティストの舞台小道具など、長崎の木材から生まれた手作りの製品が使われていることは実に誇らしく素晴らしいことです。他にも長崎市民にはお馴染み「長崎くんち」のコッコデショの担ぎ棒や龍踊りの支柱なども手掛けたそう。今村さんの木製品はあらゆる場面、あらゆる場所で花を添え、時には影で支えているのです。

自然が生み出す美を引き出す技

職人はその木のもつ美しさを最大限に活かすよう削ります。とっておきの作品と見せて頂いたのは希少な銘木である黒柿で作った花器。漆黒の木目と滑らかな光沢の魅力溢れる作品には一瞬で心を奪われました。木々の力強さと繊細さを表現した今村さんの作品は、時間と共に味わいが増す技の集大成。心に温かさと安らぎを与えると同時に自然の美しさを伝えるものでした。



(NPO 法人地域循環研究所)

林業普及だより

ボトルネックの解消で森林作業システムの効率化を目指す!



森林作業システム研修を開催

木材生産等に関する課題解決や疑問解消に向けたヒントを得ることを目標とした「森林作業システム高度技能者育成研修」を、令和2年10月に新上五島町にて実施しました。

本研修は安全で効率的な森林作業システムを構築、実践できる高度技能者の育成を目的として、林野庁が一般社団法人フォレスト・サーベイに委託し、新上五島町での実施を含め全国5箇所で開催されました。

フォレスト・サーベイ大山友之氏と県内の熟練した講師として長崎南部森林組合諫早支所の鶴田敏幸支所長をお招きして、受講生に効率的な作業システムの考え方を学ぶ講義と実習を受講してもらい、実際の作業の中でのボトルネックは何なのか？効率的な森林作業システムを実践するためにはどのようなことが必要か？を学んでもらいました。

実践のために何が必要か？

研修は、五島森林組合上五島支所の作業員5名が受講し、自分たちの実作業工程を利用してボトルネックを探し出し、効率的な作業工程の検討及び収支を踏まえた生産性向上の必要性を実感してもらいました。

受講開始時に、受講生からは「林地を荒らさない伐採の工夫やスイングヤーダの稼働を少なくする作業をもとに生産性を向上させたい。」との希望が述べられました。

研修受講により「列状間伐では作業道密度を抑え、幅員を広げないことが生産性を上げ、

なおかつ林地を荒らさない。」「山土場で木口面を合わせて積むだけでもトラック積込手間を大幅に削減できる。」「自分たちの現作業のボトルネックは集材手間と造材手間であるため、効率的な機械の稼働方法と造材時間を短縮する工夫が必要。」等々、自分たちのこれまでの作業の改善点に気づき、全員が机上での計算をもとに、実践のために必須となる収支計算を行い、具体的な作業工程方法を提案できるようになりました。

円滑な事業推進のために

受講終了時には、受講生全員から「円滑な事業推進のために、PDCAサイクル（管理業務の継続的改善）が重要なため、現場でしっかりと実践したい。」との前向きな感想が聞かれました。

作業員全員が研修成果を実践することで、これまで以上の森林作業システムの効率化と生産性向上が期待されます。



効率的な作業工程の検討

(五島振興局農林水産部林務課)

地方だより

里山林整備活動（雲仙市）



1月31日（日）と2月7日（日）に雲仙市内において、吾妻林業振興会による里山林整備活動が行われました。この活動は「森林・山村多面的機能発揮対策事業」によるものであり、平成27年から毎年行われています。今年は新型コロナウイルスの影響による参加人数の減少も心配されましたが、無事実施することができました。

まず作業を始める前には、「安全第一」を心がけるよう講習会が行われました。チェーンソーや草刈機を使用する際の作業体勢の留意点及び竹林作業における作業時の注意点を再度確認されていました。年々高齢化が進んでいることから、より一層注意し作業中はお

互いに声を掛け合うこと、周りに気を配ることを意識されているそうです。

H27年度は別の場所での実施でしたが、当該地での実施は、作業を始めて今年で5年目となり、最後の年となりました。当初侵入竹や雑草木が生い茂っていましたが、この活動により、現地の整備は大きく進みました。



当該事業整備後の林内

活動後、吾妻林業振興会の西村会長は、「作業を始めた5年前に比べると、林内は見違えるほど明るくなった。今後もこういった活動を通して、山を守る活動を続けていきたい。」と語られていました。



効率的な作業工程の検討

（島原振興局 林務課）

地方だより

県産材で簡易ハウス「スマートモデュール」を製作しました



県産地域未利用材利活用
促進研究会 坂元会長

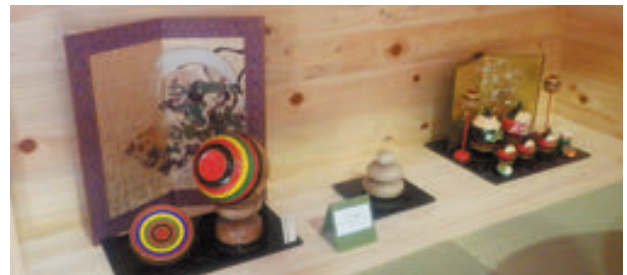
スマートモデュールは、おおよそ縦2.2m×横6m（又は12m）規格の箱型建物で、トレーラーで移動し、様々な場所に仮設して使用することができます。縦横に連結でき、デザイン性や居住性に優れ、高断熱性や耐震性も供えられている建物であるため、災害被災地の仮設住宅をはじめ、店舗やホテルなど、日本各地で利用されています。

ながさき森林環境税の「令和2年度ふるさとの森林づくり事業（佐世保市）」で、県産地域未利用材利活用促進研究会が、長崎県産木材の利用拡大PRのため、このスマートモデュールの内装や家具を長崎県産材で製作しました。



県産ひのきの子供用ロフトベッド、机、遊具等

当研究会は「(株)坂元木工工藝」、「(株)富建」、「佐世保独楽本舗」、「佐世保林業研究会」など県北地区の木材加工関係者が参加し、得意技術やアイデアを連携させ、県産材を利用した木製品の開発を行っています。



県産サクラ等の佐世保独楽、県内ヒノキのちゃぶ台

詳細は、WEB展示会として会員のHP
<http://www.sakamoto-mk.co.jp/publics/index/33/>で確認できます。

（県北振興局 林業課）

令和3年 春季の緑の募金活動期間が始まりました!!

緑の募金で 緑豊かな郷土づくり

緑の募金って？

「緑の募金」は「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、皆様の自発的なご協力により集められる寄付金です。

森林は、きれいな空気、水、地球温暖化の防止など、私たちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれる、なくてはならない存在です。しかし、近年は手入れ不足などにより、森林の本来の働きが発揮できていない状況が多く見られます。

緑の募金は、森林を守るため、森林の整備や地域の植樹活動等、さまざまな緑化活動に活用されています。

緑の募金による支援事業

緑の募金は、例年、春(3月1日～5月31日)と秋(9月1日～10月31日)を活動期間としており、市町と連携しながら、家庭募金、街頭募金や職場募金を行っています。

今年も3月1日から5月31日まで募金活動を行います。

今年度はこれまで募金にご協力いただいた皆様のご意見を踏まえ、職場募金の資材カタログを大幅リニューアル。より多くの資材から選択可能となりました。

皆様にご協力いただいた「緑の募金」は、下記の事業に活用されています。本年も、皆様のご協力をよろしく願います。

○森林整備事業

ボランティア団体等が、広域的な森林の整備を促進するために実施する「森林整備事業」に対して、その経費を助成。

○県民参加の森林づくり事業

自治会や、学校、各種団体等が行う地域の植樹活動や記念植樹にかかる苗木購入代への助成。

○幼稚園等への花苗等の配布

園児の緑化意識を芽生えさせるため、幼稚園等に花苗や緑化樹を無償提供。

○緑の少年団活動の活動支援

次代を担う緑の少年団の公共施設等への花苗の植栽にかかる経費や森林学習、交流活動等における経費の助成。

○森とのふれあい事業

自然と触れ合う場の利用促進を図るための案内板等を設置。

○市町緑化等事業

市町へ「緑の募金」交付金を交付し、地域の植樹活動、緑化活動等を支援

今後も、「緑の募金」による事業を広く周知し、未来を担う子どもたちへの「森林環境教育」や「緑豊かな環境づくり」を推進していきます。

緑の募金に関する詳しい内容は、長崎県緑化推進協会 HP をご覧ください。

HPはこちら→



((公社) 長崎県緑化推進協会)

センターだより

早生樹の幼齢期における風害状況

はじめに

早生樹は、植栽してから伐期までの期間が短く、下刈り費用の低減が期待されるなど注目されています。

農林技術開発センターでも、2018年度より数種類の早生樹を諫早市内の県有地に植栽し、本県に適した樹種を明らかにする試験を行っています。

この試験地では、植栽後3年で台風による幹折れ被害などを受けたため、風対策は必須と考えられ、その被害状況と対策の検討について報告します。

試験地の風害状況

2020年は、記録的な暴風となった台風10号により、大きな被害を受けました(図1)。

成長がよかったチャンチンモドキやユリノキでは、半数以上で幹折れや倒木などの被害が発生しました(写真1)。

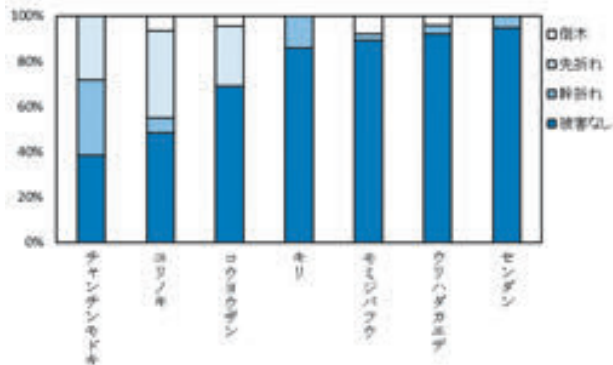


図1 樹種別被害率 (2020年)



写真1 チャンチンモドキの風害状況

キリは2019年の暴風により53.6%で被害を受けました。そのため支柱と筋刈りにより雑木を残すことで防風対策を行ったところ(写真2)、2020年の被害率は14.3%に軽減されました。



写真2 キリの筋刈り状況

また、樹高が2mを超えると被害を受けやすい傾向が見られましたが(図2)、モミジバフウ、ウリハダカエデ、センダンでは被害が少なく、樹種による幹の強度や樹冠形状の違いが大きいと考えられます。

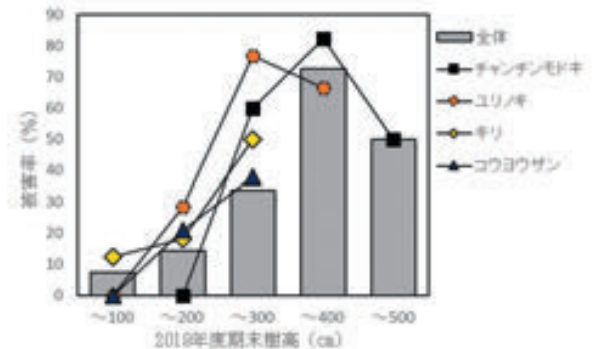


図2 樹高別被害率 (2020年)

最後に

早生樹は他の樹種より耐風性が低いため、植栽については、風当たりの強い箇所を避けるなどの配慮が必要です。また筋刈りにより雑木を残存させることで防風効果が得られると考えられるため、引き続き調査をしていきます。

※筋刈り：植栽した木の列に沿って、帯状に雑草を刈ること

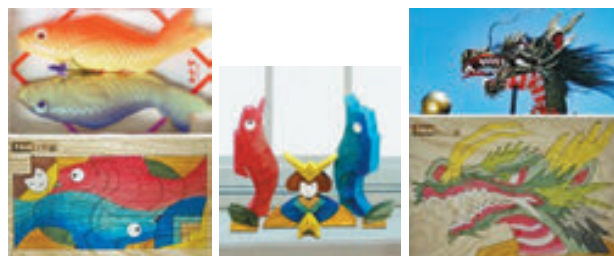
(農林技術開発センター)

紹介コーナー 手作りの木のおもちゃ NaDeg (ナデグ)



長崎市宿町の「長崎ペンギン水族館」の近くに、世界で一つだけの木のオリジナルパズルを製作している小さな工房があります。「手作りの木のおもちゃ NaDeg (ナデグ)」さんです。長崎 (Nagasaki) から発信するデザイン (Design) = NaDeg (ナデグ) と名付けられた工房では、大人もワクワクする楽しい手作りパズルが作られています。こちらの作品の特徴は、何ととっても立体で自立する珍しいタイプのパズル。天然木の温かみ溢れるこのパズルは、小さなお子さんが知育玩具として平面で遊ぶだけでなく、枠から外し、下から組み上げてインテリアとして飾ることも出来ます。またパズル遊びで起こりがちなのが、ピース紛失と収納問題。たったひとつのピースを失くしただけで、楽しみが半減し

た経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。そこで、ここ NaDeg では、1冊の本のように背表紙付きのケースに入れて収納出来るようにし、万が一紛失した場合でもパーツを再作成出来るようシリアルナンバーを入れて管理しています。遊んだ後のお片付けまで出来る「使って楽しい」パズルは、元々はご自身のお子さんのために作り始めたもの。今夏には長崎産のヒノキを使ったパズルも登場予定だそうで、今後の新作のお目見えが楽しみです。



手作りの木のおもちゃ NaDeg (ナデグ)

長崎県長崎市田中町 79-63

TEL : 095-800-6873

メール : mail@nadeg.jp

公式 HP : <https://nadeg.jp>

まずはメールにてお問合せください



伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和3年3月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16~18	直	19,400	少ない	多い	多い
	16~18	小曲り	18,500	少ない	多い	多い
	20~22	直	18,500	少ない	多い	多い
	20~22	小曲り	17,400	少ない	多い	多い

【スギ】

令和3年3月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18~22	直	13,300	普通	多い	多い
	16~22	小曲り	12,000	普通	多い	多い
	24~28	直	13,300	普通	多い	多い
	24~28	小曲り	12,000	普通	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山：岩屋山 475.2 m（長崎市）

長崎は南側に港が開け、三方は山に囲まれています。岩屋山はその北西に位置し、山頂から東西に尾根がなだらかになっています。

北東側登山口に岩屋神社があり、山頂までは全山岩屋神社の社有地で頂上には『岩屋山山頂神社』の石の祠があります。神社の境内には頂上直下まで急峻な谷筋に沿ってスギが植えられています。スギは長寿で大木になることから神社や寺の境内によく見られます。湿気があるこの谷筋はスギにとって成長の適地だそうで、みごとに成長したスギの景観は圧巻です。このスギの中に、長崎市指定天然記念物に指定されている18本のスギ群があり、最大のものは、推定樹齢300年以上で胸高幹囲5.35メートル（直径1.7メートル）、他の17本も推定樹齢130年以上、胸高幹囲3.6メートル（直径1.1メートル）～1.5メートル（直径0.5メートル）の大木です。



スギの巨木

岩屋神社からスギ林の中を谷筋に沿って登り、足元がいよいよ陰しくなり、スギ林が途切れると頂上は間近です。

頂上はなだらかな広場で眼下に長崎の市街地が広がり、南に長崎半島、伊王島、高島、端島（軍艦島）など素晴らしい眺望を楽しむことができます。また、岩屋山上空は、2月から3月にかけて出水市（鹿児島県）で冬を越した鶴がシベリアへ向う北帰行のコースに当たり、カメラを手に鶴を待つ人も少なくありません。

日曜日や休日には、老若男女を問わず多くの市民がこの山頂を目指します。さらに、休日に限らず、岩屋山に登ることを日課として年間200回を超えてこの山頂を目指すという常連組も多数あり、岩屋山は多くの市民に親しまれ、山頂はいつも賑やかです。

山頂から西側の舞岳までの尾根は、北側の天然林と南側の人工林との分水嶺になっています。北側の天然林は式見ダム、式見川の流域で、カシ、シイ、ツバキなどの広葉樹林はその優れた水源涵養機能により『式見水源の森』として維持管理されており長崎市民の水がめとなっています。

また、この林内に残るかすかな踏み跡をたどると炭焼窯の跡や石積みを見ることができます。かつて、燃料として薪炭を取り、肥料や家畜飼料として柴や落葉、草をあつめた往時の生活を窺うことができます。

山頂から西へ向かう尾根道は九州自然歩道で、広くよく整備されています。頂上から、防火帯、防火の広場を過ぎ、ヒノキの間伐材で作られたベンチでコーヒープレイク。天然林と人工林の間をたつぷりと森林浴に浸りながら舞岳をめざすのも一興です。



ヒノキの間伐材で作られたベンチ

（NPO 法人地域循環研究所）

長崎の林業 4月号 第787号
 編集・発行 長崎県林政課
 住所：長崎県長崎市尾上町3番1号
 電話：095-895-2988
 ファクシミリ：095-895-2596
 メールアドレス：
 s07090@pref.nagasaki.lg.jp